

# 院内がん登録

がんセンター 横井 美由紀

2021年分の「院内がん登録」の集計結果をご報告いたします。

院内がん登録は、病院で診断、治療された全ての患者さんのがんについての情報を診療科問わず病院全体で集め、その病院のがん診療がどのように行われているかを明らかにする調査です。がん検診で見つかった患者さんが多いのか、他の病気がかかっているうちに発見された患者さんが多いのかなど受診までの経過の違いやがんの種類別の違い、あるいは手術の数が多いか少ないかなど病院のがん診療の特徴を把握するために定期的に行われています。

**登録対象** 入院外来を問わず、下記の期間中、新たに受診・診断・治療の対象となった腫瘍

**期 間** 2021年1月～12月

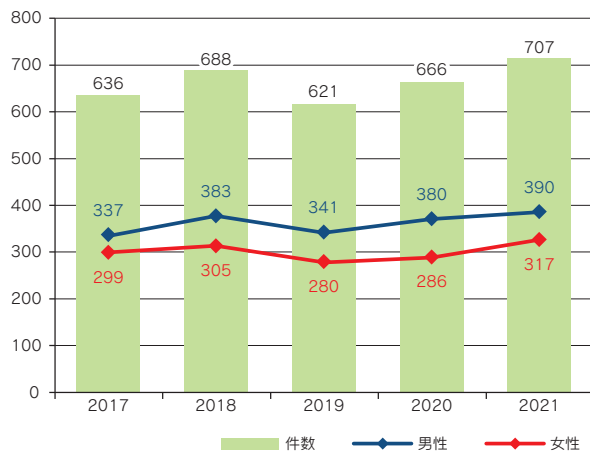
**件 数** 全登録数726件のうち、症例区分80その他を除く ※集計対象件数：707件

※国立がん研究センターがん対策情報センターが実施する全国集計において症例区分80その他を除外したデータを集計対象と定義しています。症例区分80には、他施設で診断され、治療目的に紹介されたが、治療が行われず、他施設へ紹介となるようなケースの症例が分類されます。

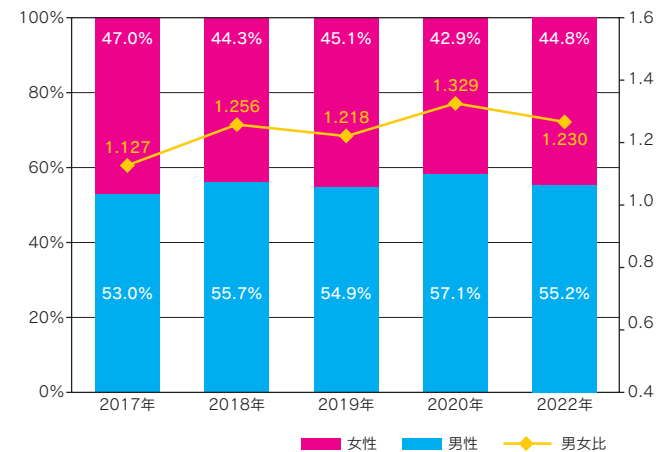
◆がん登録件数は医療機関で診断、確認された症例数であり、がん発生数罹患数とは異なります。同一症例が他の医療機関でも重複登録される場合があることから、場合によって両者に大きな差が生じることがあります。

◆個人情報につきましては、法令および厚生労働省のガイドラインに基づき適正に取扱い、保護、管理を行っています。

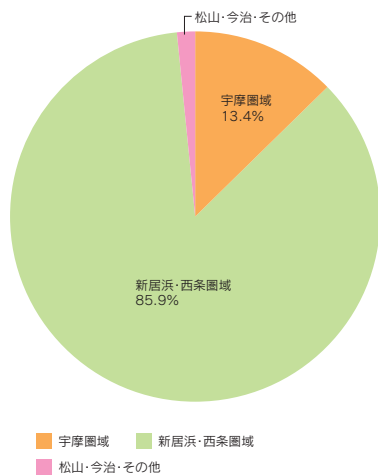
## ●登録数の年次推移



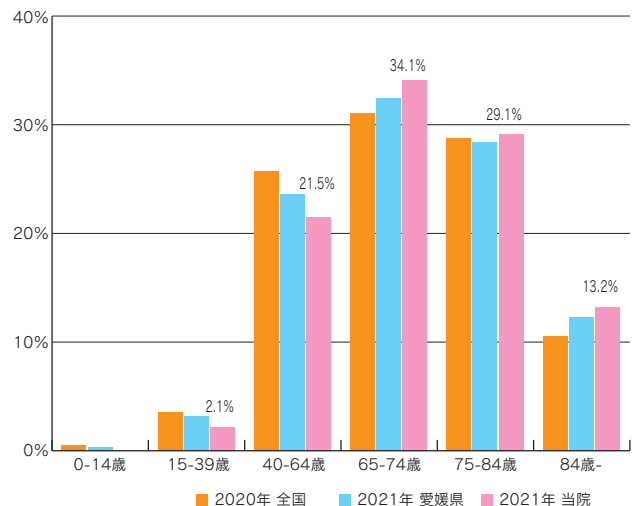
## ●男女比の年次推移



## ●診断時住所別の登録割合



## ●年齢階級別登録割合 愛媛県全体・全国値との比較



## ● 部位別登録数 (10未満は幅を持たせた表記としています)

2021年症例の部位別登録数上位5部位は、大腸(112)、乳房(98)、胃(94)、前立腺(90)、肺(37)です。

診断年	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
口腔・咽頭	13	2.0%	(7~9)	-	(7~9)	-	(7~9)	-	(7~9)	-
食道	14	2.2%	17	2.5%	(7~9)	-	14	2.1%	19	2.7%
胃	83	13.1%	66	9.6%	82	13.2%	81	12.2%	94	13.3%
結腸	54	8.5%	68	9.9%	61	9.8%	78	11.7%	59	8.3%
直腸	35	5.5%	36	5.2%	41	6.6%	40	6.0%	53	7.5%
肝臓	27	4.2%	24	3.5%	21	3.4%	27	4.1%	24	3.4%
胆嚢・胆管	(7~9)	-	14	2.0%	10	1.6%	(4~6)	-	(7~9)	-
膵臓	35	5.5%	26	3.8%	21	3.4%	36	5.4%	22	3.1%
喉頭	(1~3)	-	(4~6)	-	(1~3)	-	(4~6)	-	(1~3)	-
肺	45	7.1%	29	4.2%	22	3.5%	28	4.2%	37	5.2%
骨・軟部	0	-	0	-	(1~3)	-	0	-	(1~3)	-
皮膚(黒色腫を含む)	25	3.9%	23	3.3%	20	3.2%	47	7.1%	37	5.2%
乳房	80	12.6%	78	11.3%	81	13.0%	68	10.2%	98	13.9%
子宮頸部	34	5.3%	30	4.4%	16	2.6%	20	3.0%	22	3.1%
子宮体部	10	1.6%	(4~6)	-	(7~9)	-	11	1.7%	10	1.4%
子宮	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
卵巣	(1~3)	-	13	1.9%	(1~3)	-	(1~3)	-	(7~9)	-
前立腺	55	8.6%	68	9.9%	93	15.0%	83	12.5%	90	12.7%
膀胱	36	5.7%	43	6.3%	33	5.3%	39	5.9%	36	5.1%
腎・他の尿路	13	2.0%	40	5.8%	25	4.0%	20	3.0%	26	3.7%
脳・中枢神経系	(4~6)	-	17	2.5%	(4~6)	-	(4~6)	-	(4~6)	-
甲状腺	19	3.0%	21	3.1%	(4~6)	-	(1~3)	-	(4~6)	-
悪性リンパ腫	16	2.5%	14	2.0%	20	3.2%	25	3.8%	21	3.0%
多発性骨髄腫	(1~3)	-	(4~6)	-	(1~3)	-	(1~3)	-	(1~3)	-
白血病	(4~6)	-	(7~9)	-	(7~9)	-	(1~3)	-	(4~6)	-
他の造血器腫瘍	(7~9)	-	10	1.5%	(1~3)	-	(1~3)	-	(1~3)	-
その他	(7~9)	-	21	3.1%	21	3.4%	15	2.3%	13	1.8%
合計	636		688		621		666		707	

当院は、新居浜・西条地区の中核病院としての役割を担っており、2005年に地域がん診療連携拠点病院の指定を受けてからは、がん登録を開始するとともにがん診療体制を整備してきました。

医療機器のインフラ設備も並行して進めており、2018年には新病院への建て替えを機に、PET-CT新規導入、放射線治療機器の高精度上位機種への更新、IVR-CT導入、手術支援ロボットの導入等の設備更新を行い、高度ながん診療を提供できるようにいたしました。

がん薬物療法では、がん化学療法認定看護師やがん専門薬剤師といった専門性の高いスタッフが医師をサポートし、安全かつ適切な治療を提供できる体制を整えました。

診療科の縮小で一時低下したがん登録件数でしたが、徐々に上昇し、726件と過去5年間で最大となりました。登録時の住所では新居浜・西条地域だけでなく、宇摩地区の一部までが当院の担当医療圏とわかります。

80.5%の患者さんが当院で初回治療を受けています。部位別がん登録では消化器癌、乳癌、前立腺癌が大部分を占め、地域に貢献できているのではないかと考えています。

年齢階級別の割合では、例年通り、全国平均や愛媛県平均と比べ、70歳以上の患者が占める割合が高くなっています。

ここ数年コロナ禍の影響で、がん検診より感染症対策に重点をおく報道が散見されます。感染症対策同様、がん検診、がん治療も命に直結する大事な医療ですので、ここ数年のコロナ禍ががん診療に及ぼした影響を、がん登録を通じて少しでも紐解ければと願っております。

(診療部長 松原 稔)